



## こちらあみ子

今村夏子著

定価1400円(税別)

【彫刻】土屋仁応「麒麟」2010

【装丁】柳川貴代

### 第二十六回太宰治賞受賞作

風変りな女の子、あみ子の目に映る世界を鮮やかに描き、選考会で各氏の絶賛を浴びた第二十六回太宰治賞受賞作「あたらしい娘」。受賞作を改題のうえ、書き下ろし作品「ピクニック」とともに単行本化しました。

#### 「こちらあみ子」

あらすじ 十五歳で引っ越しをする日まで、あみ子は田中家の長女として育てられた。お父さんが連れてきた新しい母は、ある日を境にやる気をなくし、ご飯も作らなくなった。優しくあった兄は、同じころ突然不良になった。すべてを見ていた父は、あみ子に一人、祖母のもとに引っ越しように告げた――。

#### 選評より

―受賞作にふさわしい空気と、独自の歩調をそなえたものだ。そしてどこかからまた、作者のなかに、あたらしい小説がやってくる。近づいてくる。そんな期待が感じられた。(荒川洋治)

―全候補作に登場する数多くの人物たちの中で、最も強い存在感を放っていたのが、「あたらしい娘」のあみ子だった。／彼女と出会った時点ですぐさま、「あたらしい娘」を推そうと決心した。(小川洋子)

―「あたらしい娘」は、小説は説明ではなく描写で成立すると証明しているし、それは同時に、人間は説明しきれぬ感情や言動で構成された生き物であるという真実をもあぶりだしている。(三浦しをん)

【お問い合わせ先】

筑摩書房 第一編集室 榊原大祐(さかきはら だいすけ) sakakiharad@chikumashobo.co.jp  
〒111-8755 台東区蔵前2-5-3 tel:03-5687-2672 fax:03-5687-2677